

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市民総合体育館備品等整備事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	06	03	01	52
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	スポーツ振興課				
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		主管課長	金子 邦晃				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民総合体育館利用者	意図	競技水準の向上と、高いレベルでのスポーツに親しむ機会を実現する。
事業内容	市民にスポーツ活動の場を広げるとともに、公式の大会の開催、トップアスリートの試合観戦、文化活動などの機会を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成28年4月の開館に併せ、平成27年度はスポーツや文化活動に必要な各種スポーツ備品等を購入するとともに、平成28年度は各種文化事業を効果的に実施するための映像に関する備品及び施設改善を図るための備品を購入した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	様々なスポーツや文化活動に利用できる施設として、映像に関する備品及び施設の改善を図る備品を購入した。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 各種文化事業開催に関する備品及び市民のスポーツ活動に必要なとなる備品の購入に努めた。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			144,763,196	12,773,782			
事業費(b)(円)			139,115,696	7,625,032			
うち一般財源			139,115,696	7,625,032			
職員給与費(c)(円)			5,647,500	5,148,750			
人役・職員(人)			0.75	0.75			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	コスト縮減等、効果的な予算の執行を図るため、品目に応じ発注を行った。	③取組の課題	利用者の意見を踏まえながら、今後市民のスポーツ大会に必要なとなる備品並びに施設の改善を図るための備品の購入に努める。
②今年度(H28)に実施した取組	各種文化事業開催に関する備品並びに市民のスポーツ活動に必要なとなる備品を購入した。	④今後の改善計画	モニタリングや利用者アンケート等を通じて、利用者ニーズの把握に努め、今後の備品購入の検討を図る。